

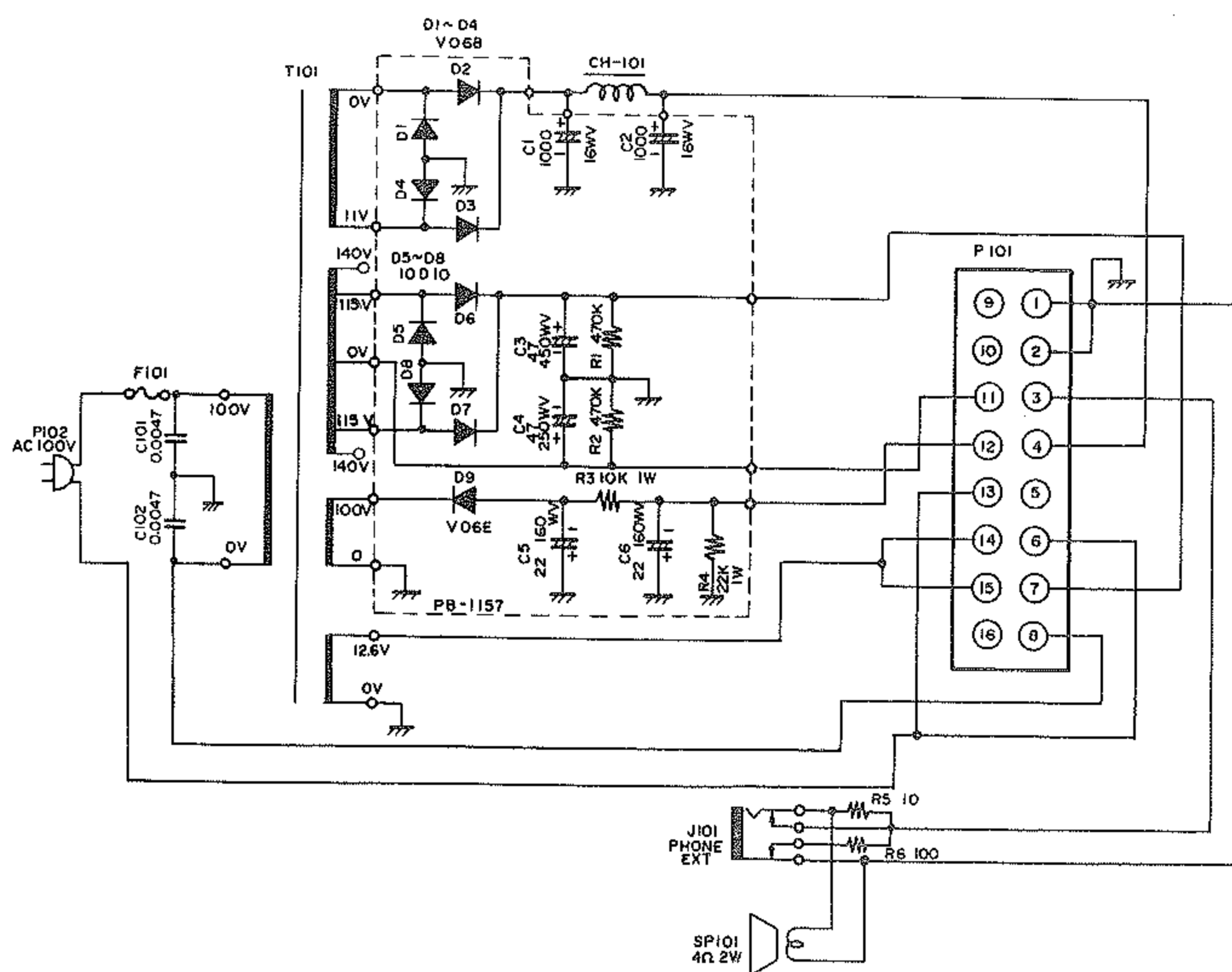
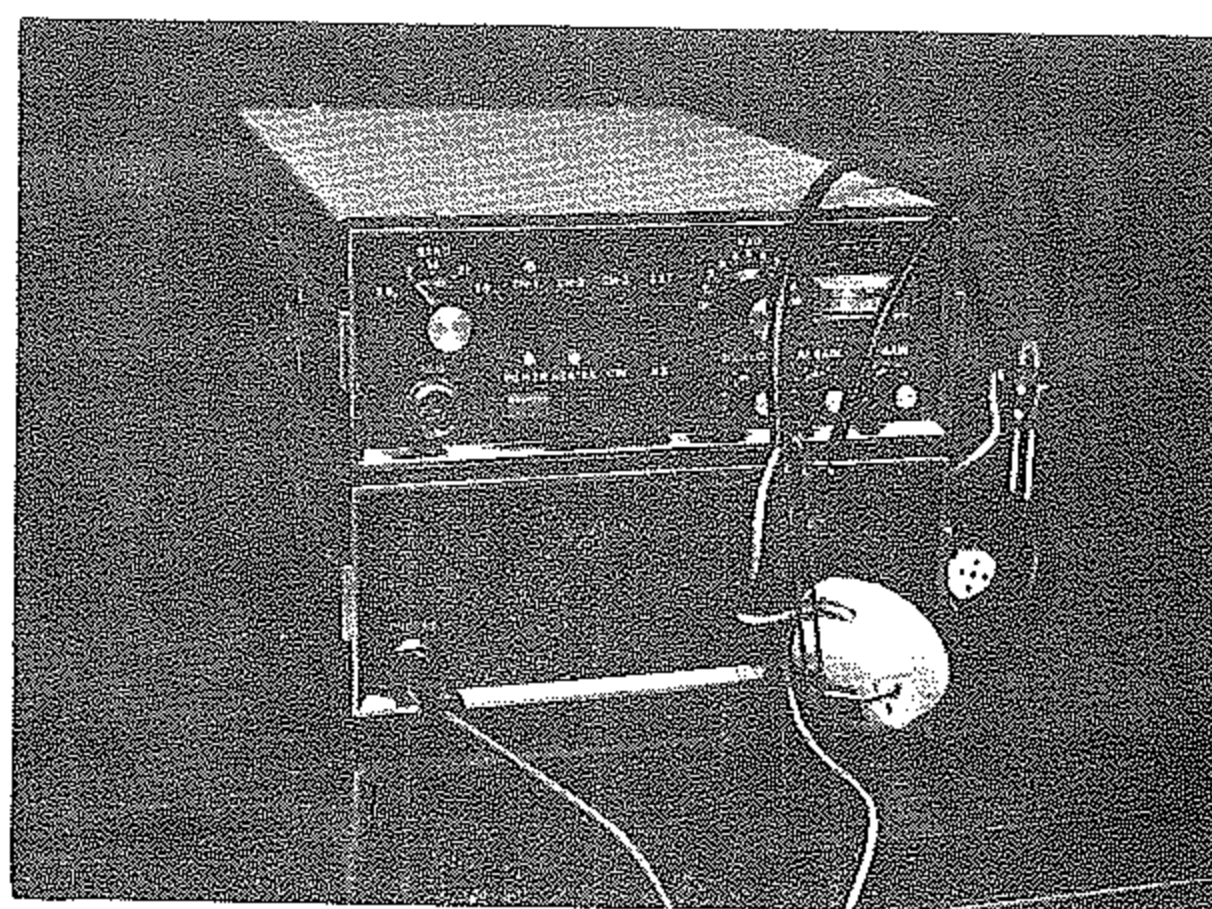
FP-75 型交流電源

FP-75はFT-75を100VのAC電源を利用してホームシャックでお使いいただくための電源装置で、本体のFT-75と同じ大きさのケースに電源回路と、スピーカーを組みこんだものです。

FP-75の回路を第6図に示しますので、本体のFT-75の回路とあわせてご覧ください。

FP-75の動作を簡単にご説明しますと、ACプラグ P_{102} を100Vの電源コンセントにさし、 P_{101} をFT-75のPOWERソケット J_1 に接続します。このようにして、FT-75のPOWERスイッチをONにしますと P_{101} のピン⑥と⑧が接続され、電源トランス T_{101} に100Vが供給されます。トランスの1次巻線に電源が供給されると2次巻線のうち、12.6V巻線からは真空管のヒーター電源が、11V巻線からは $D_1 \sim D_4$ の整流したトランジスタ回路用直流電源、高圧巻線からは $D_5 \sim D_8$ で整流された高圧B電源が、この巻線のセンタータップからは低圧B電源が、そして100V巻線からは D_9 で整流されたバイアス用C電源がそれぞれ本体のFT-75に供給され、送受信ともできるようになります。

FT-75の受信出力は P_{101} のピン③を通してスピーカーの回路に供給されます。PHONESジャック J_{101} にヘッドフォンが接続されていないときはこの出力はそのままスピーカー SP_{101} に供給されてスピーカーを鳴らします。また、PHONESジャックにFP-75付属のフォンプラグでヘッドフォーンを接続すると、スピーカーは切り離されてヘッドフォーンを鳴らします。 R_5 と R_6 はスピーカーを鳴らしている状態でヘッドフォーンを接続すると音が大きすぎるため、AF出力を減衰させてヘッドフォーンに供給するためのアッテネーターです。



第6図 FP-75の回路